

大分トリニータ「J1昇格支援金」についての代表取締役 青野浩志 記者会見内容

今日は突然の記者会見に、多数の方がお集まりいただきありがとうございます。

メディアの皆様方には日頃から大分トリニータの報道にご協力を賜りましてありがとうございます。あらためてお礼申し上げます。

本日は今季最大の課題、Jリーグからの借入金6億円の内の残り3億円の返済についてご報告・ご説明をしたいと思います。

冒頭に(記者のみなさんも異動などで変わられた方もいますので)若干の経緯を含めてご説明をいたします。2009年(2010年1月期)の深刻な経営危機を、どうにかJリーグからの6億円の融資でクラブが存続し、2010年は何も準備が出来ないままの状態シーズンに突入いたしました。そこで2010年の8月、大分トリニータをどうやって立て直していくか、財務面・チーム面の両面から、更にはそのバランスも含めて検討しました。その結果として、2011年シーズンに田坂監督を招聘し、若い選手で2年から3年後(今年あるいは来年)にJ1昇格、あるいはJ2上位争いが出来るチームを作ろうということで、昨年から新生トリニータをスタートさせました。その間に経営に関する信頼を取り戻しつつ、期間利益の中で債務超過を徐々に解消していこうと。そして時期が来た時、今年あるいは来年、チーム面・財務面の勝負をかけていこうじゃないかと考えたところです。

そうした中今期、クラブライセンス制度に加え、プレーオフ制度も導入されることになりました。そういうことを考えると先ほど2年から3年後に、と一昨年考えましたが、やはり勝負するのは今期だろうと考え、昨年のシーズン終了のご挨拶の中で来期は勝負の年だと、今季開幕のあいさつの中でも勝負の年だと申し上げました。おかげ様で田坂監督の下、選手が非常に頑張ってくれて現在、15試合終わって8勝4分3敗の6位、上位に食らいつく戦いが出来ています。チーム面では監督の下、挑戦し、勝負してもらっている。こうしたことを踏まえ、それを支える我々フロントといたしましてもいよいよ勝負する時が来たのではないかと判断して本日の会見に至った次第です。何を言いたいかと言えば、一昨年考えたトリニータの再生・復活のロードマップを、着実に一步一步、階段を上るように進んでいるということです。言い換えれば今日の会見というのは行き当たりばつたりの会見ではなく、一昨年の8月以降、クラブ内で様々な検討を重ね、今年のチームもがんばりと、一昨年、昨年としっかりとした経営をすることによって今日の日を迎えたということです、十分ご理解していただきたいと思います。

経営状況について詳しく説明いたしますと深刻な経営危機を3年前に迎えました。2010年1月期の純損失で6億1千700万円、いわゆる債務超過として11億6千700万円、約12億円の債務超過という大きな荷物を抱えてトリニータが再スタートいたしました。

その後2011年1月期に1億1千500万円、2012年1月期に1億3千400万円と1億円を超える利益を2期連続で出す事が出来ました。ただし、これにはJ1からJ2の降格に伴い、売り上げが半減する中、具体的にはJ1の時に18~19億円の売り上げがありましたが、降格し10億円前後、昨年の決算で9億6千100万円。10億円を切るような売り上げの中で、この1億数千万円の売り上げを出すということは並大抵のことではございません。正直申しあげまして、みなさんもお分かりの通り、チームの人件費も大きく削減いたしましたし、当然私共スタッフの給与カット、運営費等も様々な部分を削減した中でのものです。このような経費削減に取り組んだ結果、2期連続の黒字が出たことはご理解いただきたいと思います。よく言われますのが、「もっと経費を節減すれば利益が増える。そうすれば債務超過の解消につながるじゃないか」というご意見・ご批判を受けることがあり

ます。しかし、これ以上の削減ということはより一層のチーム人件費の削減、あるいは専用のクラブハウス、練習場も手放すということになると、トップ選手の練習環境を悪くするような状況になります。さらに言えば地方クラブとしての存在意義であろう、子供たちの健全な育成という観点からサッカースクールを各地で行っていますが、そこまで切り込んでスクールコーチの人員のカットなどをすれば、確かに経費を減らせることとなります。ただしそうした場合、売り上げも当然下がります。チームに対する期待感がない中、現在約7千席購入いただいているシーズンパスをどのくらい買っていたか、あるいは観客の皆さんが大分銀行ドームに足を運んでいただけるかを考えると、チケット収入も下がります。また、胸スポンサー、背中スポンサーを含め、スポンサーさんが上を目指さないチームをスポンサーしていただけるか、自ずとわかる通りだと思います。そこまで削減していくと、やはりチームに期待感がない、上昇する気持ちがないようなクラブに対してスポンサーしないというような状況になるため、広告収入もグッと下がる。するとこの昨年の1億3千400万円、一昨年の1億1千500万円という利益さえも当然確保できないだろうとっております。ですから今、仮にそのようなご意見に関しては事細かくご説明をし、「そうではないんですよ」とご説明をしてご理解をいただいております。ですからこれ以上の大幅な経費の削減は、クラブの存続に影響するものと考えております。

今期は、昨年同様、2013年1月期で1億2千500万円の利益を予定しています。仮にこれと同じように今後3年間、経営危機後は5年間の推移で6億7千400万円、約7億円前後の期間利益が正直なところ精一杯となる見込みです。3年前12億円の負債を抱えスタートしましたが、期間利益が7億円とすると、どうしても残り5億円が必要になってくるということです。すでにクラブライセンス制度が始まり、15年1月期までに債務超過を解消しない限りJFLへ降格、いわゆるJリーグクラブライセンスが交付されないことになっています。3年後の2015年1月期までに、現行と同じ期間利益1億数千万円を出しても5億円足りない。背負っていた負債がどうしても大きすぎて残り5億円だけは正直申しあげて、大分県全体の総力で助けていただきたいという想いがあります。そして5億円の対応につきまして、まずはJ1昇格、プレーオフ進出の絶対条件である3億円の返済というのが今期の最大の課題です。この橋を渡らないとクラブに対する魅力、期待感がなくなるということ、現在、選手が非常に頑張っており、最終的に6位以内に入ったとしてもJ1昇格あるいはプレーオフ進出できないとなると、やはり選手は一つでも上の順位に行きたい、あるいはJ1でプレーしたいという気持ちは人間として、選手として当然ですので、プレーオフにも進出できない事態に陥れば来期移籍するだろうとすぐに想定できます。そうなると当然シーズンパスも売れない、スポンサー収入減、売り上げの減少というような事態になるでしょう。今期の最大課題である3億円の返済とは、今の選手・監督の頑張りにしっかりとフロントとして応え、まず目の前の橋をしっかりと渡って行こうじゃないかということです。

そこで、昨年の1月末、今年の1月末に1億円、2億円の計3億円返したじゃないか、というご意見も想定できます。正直申しあげまして、期間利益と資金繰りの中でどうにか1億円、2億円を返済してきましたが、10億円そこそこの売り上げの中で3億円というのはクラブの自助努力だけでは極めて困難で乗り越えられない金額でございます。そういうことで冒頭から申し上げた通り、一昨年から1億円、2億円と返済し、しっかりとした経営をして信頼を取り戻す中で、3億円返済のときにはチームの方もしっかりと上昇し、尚且つそれを支える我々フロントの経営信頼を取り戻した中でないと、こういった勝負は出来ないと思っておりました。現在、チームがよい方向に向かっており、そういう意味で先ほど、いよいよ勝負の年だと申し上げた次第です。今期の絶対条件である3億円は非常に高いハードルであることは承知しております。しかしクラブの勝手な言い分になりますが、クラブの原点である、県民、企業、行政の皆さまにご協力をお願いし、ご支援をお願いすることによって何とかこのハードルを乗り越えられないかという想いがございます。その出発点と致しまして、広くそして多くの県民・サポーターの皆さまに3億円のうち1億円を「J1昇格支援金」といたしまして、一口5千円を個人またはグループでご支援ご協力をいただきたいと思いますと考えております。グループとして、たとえば一人1千円ずつ出して

ただいたり、10人で1万円などの形でも結構です。必ず5千円以上でないと受け入れないというわけではありません。仮に、自分はそんなに大分トリニータを観に行かないけれど、大分の元気の象徴と言われた大分トリニータがもう一度元気になってもらいたいから、自分は1千円だすよ、という方々が数名集まって一口プラスアルファでももちろん結構です。私共も内部で100円がいいのか、1千円がいいのか、5千円がいいのか、1万円がいいのかと色々な議論をいたしました。

まず、県民の皆様方に広くご支援いただきたいですが、一方で1億円と言う目標がございます。そのためには通常の募金活動でしたら2千~3千万円と言うのか上限だろうと思いますので、ある一定の金額をしていただきたいということで5千円とさせていただきます。過去、他のクラブでも支援金活動等がありますが、大部分のクラブは一口1万円が多かったですが、私どもはやはり広く多くの方に金額の大小は別にしてご支援していただきたいという思いから5千円としたところがございますのでご理解を賜りたいと思います。

この1億円を仮に県民・サポーターの方に支援していただいて、3億の残り2億円はどうなるのかというご質問が想定できますが、広く多くの県民の皆様からご支援いただくことが、経済界または行政のみなさまの支援につながるものと、また、経済界や行政のみなさまからご支援をいただけるものと確信をしております。

大分トリニータの再生・復活にとりまして、まさしく正念場であります。ここを乗り越えなければ来期以降はないという想いです。1億円が達成できないと3億円の資金手当てが出来ない、当然ながら5億円も出来ない。そうならば9億1千800万円の債務超過も3年後には出来ないということでございます。まさしく今回の「J1昇格支援金」の募集がある意味、3年後の9億円債務超過解消に向けた第一歩であり、大きな第一歩であると思いますし、クラブの存続をかけた行動であろうと思います。これまで、クラブ独自として県民の皆様方に対価のあるシーズンパス、スポンサーを度々お願いしてきました。県民の方にいたしましては「またか、また支援なのか」という気持ちはあろうかと思いますが、いわゆるこうした対価のないお願いというのは正直初めてでございます。こうした支援金、いわゆる寄付の募集になりますが、初めてであり、今回が最後です。そのところを県民のみな様にはご理解を賜りたいと思います。フロント一丸となって1億円を達成するために不退転の決意で臨みたいと思っております。どうか県民サポーターのみなさまにのご理解を賜り、ご支援ご協力をお願い申し上げたいと思います。

それでは趣意書のご説明をいたします。表面下段にイメージ図がありますが、J1昇格のためにはどのようなハードルがあるかご存じない方への説明となります。①今回の支援金一口5千円、目標金額5千円が個人・グループなどの皆様方の支援によって、②企業あるいは行政のみなさん、大分の総力の結集につながる第一歩ですと表示しております。③3億円が集まった段階で当然財務面の3億円の返済、そしてチームが監督の下で1位2位あるいはプレーオフ進出・優勝すれば財務・成績条件のクリアし、もう一度大分トリニータをJ1の舞台に立たせてほしいということです。裏面が、支援金募集要項です。支援金募集の目的は大分トリニータがJ1昇格を果たすための条件の一つである、Jリーグからの借入金残高3億円の返済の原資として活用させていただきます。記載のある口座は通常クラブの運営に使っている口座とは違います。3億円の支援金を集めるための別途の口座となりますので、今回お願いする金額は運営とは別管理とさせていただくために別口座を金融機関さんをお願いして作っていただきました。受付期間は明日5月23日から8月22日までの3ヶ月間とさせていただきます。一口5千円から何口でも受け付けさせていただきます。個人・グループでどんな形でもご支援をお願いいたします。支援方法は、大きく分けて口座への振り込み、現金受付の2本立てとなります。口座への振り込みは各金融機関さんのご理解を賜りまして共通の振り込み用紙に統一させていただきました。(ゆうちょ銀行を除く)支援金の現金受付として本社、練習場のあるクラブハウス、グッズを販売しているクラブトリニータさん、次の日曜日の千葉戦から8月22日東京V戦までのホームゲーム特設ブースで受付いたします。一つお願いですが、銀行振り込みの場合、振り込み手数料が発生いたします。社内でも色々考えまして、振り込み手数料はクラブ負担にしよう

かと考えましたが、仮に1億円集めるために単純に2万口、2万人になると、振り込み手数料も膨大となるため、ある意味せつかくの支援金返済のための原資がここで何百万円もなくなることになりますので、大変勝手なことになりますが、手数料は県民サポーターの皆様方をお願いしたいと思っております。ただし、金融機関さんのご協力の下で手数料金額は半額となっております。(専用振込用紙を使っの振り込み限定)あらためて金融機関さんには御礼申し上げます。今回の支援にご協力いただいた方へお礼状なり、支援者名の掲出をHPまたは月刊誌にて掲載させていただこうと思っておりますので、ご住所、お名前等をご記入していただきます。この個人情報はこの支援活動のみに使用させていただき、他の営業等に使うつもりはありません。そうしないと私共が皆様の情報を、次の展開に使うのは賛同してくださった皆様方の気持ちに反するだろうと、個人情報につきましてはお名前の掲出のみに使わせていただくことを改めて申し上げたい。それから最近、詐欺まがい行為がいろいろとありましたが、今回の支援金活動等でそういう事件が発生しますと、この支援金活動そのものを中止せざるを得ないと思っておりますので、戸別訪問・電話勧誘は致しません。ですが、私が私個人の知り合いに電話勧誘、私が友達を訪問して頼むという意味ではなくて、いわゆる一般的な見ず知らずの方への戸別訪問・電話勧誘したりすることは一切致しませんということです。

明日からいよいよ3ヶ月間スタートさせていきます。明日からは社員全員で大分駅別府駅市役所さんのご理解をいただきまして趣意書の配布をしたい、夕方は商店街等でチラシ配りをしていきたいと思っております。

以上